

教員氏名	小原 倫子	職 位	教授
最終学歴	名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程 心理発達科学専攻修了 (2007年3月)		
学 位	心理学博士 (名古屋大学) 教育博第 88 号		
役 職		委員会	学生委員会 ゼミ委員会 大学院運営委員会
担当科目	【学部】 「子ども理解の理論と方法」 「子ども家庭支援の心理学」 「子育て支援」 「教育相談 A」 「教育相談 B」 「基礎演習 I・II」 「総合演習 II A・II B」 「卒業研究演習」 「教育実習指導 III」 【大学院】 「教育相談特論 I・II」 「カウンセリング特論 I・II」 「人間文化特論 (心理学の研究と方法)」		
教科書・教材・ 教育方法の実践例	1. ICT を活用した、インタラクティブ性のある授業方法 2. 実践の場での柔軟な応用力を育てるために、教育や臨床現場での事例の紹介やグループワークによる事例検討を導入した授業方法		
教育研究業績 主要 10 点	【著書】 1. 「学校で役立つ教育相談」, 2019年4月, 共著, 第7章, pp.76-93, 「幼児期・児童期の心理と発達」, 第13章, pp.171-177, 「児童虐待とその対応」, 第15章, pp.188-197, 「子育てと家族の問題への対応」, 八千代出版 2. 「個と関係性の発達心理学: 社会的存在としての人間の発達」, 2018年3月, 共著, 第2章, pp.43-61, 「母子相互作用と母親の発達」, 北大路書房 3. 「コンパクト版保育者養成シリーズ: 保育の心理学 I」 2018年3月, 共著, 第2章, pp.17-24, 「生涯発達心理学の視点」, 一藝社 4. 「コンパクト版保育者養成シリーズ: 保育の心理学 II」 2018年3月, 共著, 第2章, pp.17-24, 「個人差に応じた保育」, 一藝社 【学術論文】 1. 「わが子の泣きに対する父親の認知プロセスの分析: 育児期初期における発達の様相についての質的研究」, 共著 (査読有), 発達心理学研究, 第32巻 (1), p.11-23, 2021.4. 2. 「保育の質の構造と保育者の心理的特性との関連に関する検討(1)—保育・幼児教育施設の形態の違いによる保育者の心理的特性の違い」, 共著, 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要, 第52号, pp.33-38, 2019.3. 3. 「乳幼児の情動状態を読み取る VTR 刺激の妥当性の検証 (1)」, 共著, 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要, 第51号, pp.9-15, 2018.3. 4. 「地域における子育て家庭の状況及び需要に関する発達の变化的実態調査」, 共著, (査読有), 地域活性化研究, 第13号, pp.11-17, 2015.7. 5. Process of Change in Mothers' Abilities to Perceive Infants' Emotions., 共著, 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究紀要, 第47号, pp.11-15, 2015.3. 6. 「母子相互作用において母親が使用する情報: 内的作業モデルの影響」, 共著		

	(査読有), 発達心理学研究, 第 23 卷 (1), p.37-44, 2013.3.
所属学会	<ol style="list-style-type: none">1. 日本心理臨床学会2. 日本心理学会3. 日本発達心理学会4. 東海心理学会5. 日本小児保健学会6. 日本保育学会7. 日本乳幼児医学・心理学会